

## 新バージョンリリースのお知らせ セキュアリモートアクセス Version 2.2.0

2023年3月23日

### ■ マネージメントツール Version 2.2.0

※ 弊社側のメンテナンス作業によりリリースされております。

#### ○ Version 2.1.0 からの変更点

##### 1. スプリットトンネル設定

- 「基本動作」から「ルール指定方法」に表記を変更し、項目を「インクルージョン/エクスクルージョン」から「VPN 接続を指定/インターネット直接接続を指定/スプリットトンネル未使用(すべてVPN)」に変更しました。
- インターネット直接接続の指定において、「Microsoft 365」、「Google」、「Zoom」、「Webex」、「ローカルセグメント」をグループで設定できる機能を追加しました。
- 「IP アドレス/ドメイン」を指定せずにどちらも登録できるように変更しました。
- 保存時にメッセージを表示するように変更しました。
- 画面を定期的にはリフレッシュするように変更しました。
- ルール指定方法別に設定した内容を保持するように変更しました。

##### 2. アクセス制御設定

- 「アクセス制御設定」から「ファイアウォール設定」に表記を変更しました。

##### 3. プロキシ設定

- 適用プロファイルの設定した内容を保持するように変更しました。

##### 4. 認証履歴

- 失敗理由に多要素認証によるエラーを表示できるように変更しました。

## ■ "Cisco AnyConnect"ソフトウェア

※ **お客さまにてバージョンアップが必要です**

お客さまサポートサイトよりソフトウェアをダウンロードし、アップデートを行なってください。※1

### 【Windows OS 用】 Version 5.0.00556

ソフトウェア名 : cisco-secure-client-win-5.0.00556-predeploy-k9.zip

### 【macOS 用】 Version 5.0.00556

ソフトウェア名 : cisco-secure-client-macos-5.0.00556-predeploy-k9.dmg

対応 OS : MacOS13.0 に対応しました。

OS : MacOS10 系は非推奨となります。

### 【ARM OS 用】 Version 5.0.00556

ソフトウェア名 : cisco-secure-client-win-arm64-5.0.00556-predeploy-k9.zip

対応 OS : Windows11 に対応しました。

### ※1

弊社より提供しておりますクライアントソフトウェアの3世代以前のバージョン（Version 4.8.03052 以下）をご利用の場合、本メンテナンス後のリモート接続時にソフトウェアが強制的に Version 4.10.00093 へバージョンアップされます。  
つきましては、本メンテナンス前までに現行の最新バージョンのインストールをお勧めいたします。